

Archi-Neering Design AWARD 2020 (第1回 AND 賞) 募集要項

AND 賞の目指すもの

AND 賞が目指すものは、完成された建築作品としての評価だけではなく、そのプロジェクトがもつ固有の技術的テーマ（構造や環境など）を明らかにし、デザインプロセス、しくみ（システム）やしかけ（ディテール）、素材や施工法などを真摯にイノベティブに追求する人やチームを表彰することである。

「AND」とは、AND 展で見えてきたもの

アーキニアリングデザイン（AND）とは、「建築と技術の融合・触発・統合の有様とそれを志向する理念」のことである。

2008年より12年以上にわたって国内外で開催されてきたAND展では、時に150点余の模型・パネルが並び、数多くのフォーラムが開催された。

そこから見えてきたものは二つ。

第一に、「建築は織物だ」ということ。連綿と引き継がれる「技術」のタテ糸は強靱であり、感性や社会的欲求を映す「芸術」のヨコ糸により、時代の模様が描かれている。その交点には常に両者の葛藤や協同の物語がある。

第二に、「技術は空間を介して建築とつながっている」ということ。意匠が失われても空間はあるが、構造なくして空間は成立しない。イメージとテクノロジーの有機的な融合・協同の結果として、「美しく合理的な」「合理的で美しい」建築の空間形態が生まれている。そのことは歴史的にも検証されている。

AND 賞で評価したいと考える視点

今の時代の頂点としての「点」の建築の評価は既に多くの建築賞で選定されている。

AND 賞は時代が求める建築を、作品という「点」として捉えるのではなく、美しい歴史的建築を実現に導いた一連の芸術と技術の融合というプロセスから学び、未来へ繋げていくという「線」や「面」のような普遍的・横断的視点をもって追求する一貫した姿勢と業績を評価したい。

▷ 発想から実現に至る技術的テーマ性のあるデザイン・プロセス

▷ 個性的作品性だけではない普遍的技術の創造

▷ システム・素材・ディテール・工法などの新しい発想・工夫

新築、恒久的な建築作品だけでなく、再生や仮設、橋など建築以外の構造物、階段などの部位や家具・オブジェなどスケールの小さな作品も本賞の対象としたい。

応募作品の対象

2015年1月1日より2020年9月末日までに完成した国内作品、あるいは国内在住の設計者等による海外作品とする。

応募資格

- ・ 個人（単独あるいは複数）による応募とし、重賞も可とする。
複数の場合は、それぞれの候補者が候補業績にどう関与したかを応募シートに明記する。
- ・ 一次審査を通過した場合、最終審査会（2021年2月6日（土））に参加し、プレゼンテーションを行う。

提出物

①応募シート（A4 1枚）

※フォーマットはA-Forum ホームページ（<http://a-forum.info/anda/anda.html>）よりダウンロードしてください。

※応募作品の完成年月を明記してください。

②プレゼンテーションシート（A3 1枚） ※形式自由

※①②を出力の上、郵送してください。

※①のエクセルデータおよび②のPDFデータ（20MB以内）をE-mailにて送付してください。

表彰件数

最優秀賞1件、優秀賞3件程度を表彰する。

入賞者には賞状及び記念品を授与する。

審査方法

一次審査： 書類審査により10作品程度を選定する。

最終審査： 一次審査通過者は2021年2月6日（土）の最終審査会でオンライン（Zoom）にてプレゼン（プレゼン時間10分程度＋質疑応答、プレゼン方法は自由）を行い、公開審査（一部非公開）により最優秀賞、優秀賞を決定する。

応募締め切り及び提出先

2020年12月10日（木）※消印有効。データ送付は締め切り当日まで。

- ・ 郵送先： 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5-5 レモンパートIIビル・5F
Tel：03-5281-7880
A-Forum AND 賞実行委員会
※封筒に「AND 賞応募資料」と記載して下さい。

- ・ データ送付先： a-forum@a-forum.info 担当：麓 絵理子（A-Forum 事務局）

日程

2020年12月24日(木)	一次審査通過者発表 (A-Forum ホームページ上にて公開)
2021年2月6日(土) 13:00~17:00	最終審査会 ※オンライン (Zoom) にて開催予定
2021年2月末~3月	表彰式及び受賞講演会

著作権

表彰作品の応募資料として提出された写真・図版等について、AND 賞実行委員会は編集出版権を持ちます。また、複写権は本会に委託するものとし、本会が表彰作品の関係資料を展示、記念冊子の印刷、ホームページ等に掲載する場合、無償で使用できるものとします。

展示及び記録

- ・最終審査会参加作品は A-Forum ホームページ上にて公開予定
- ・記念冊子を制作予定

審査委員

堀越英嗣 (委員長)	芝浦工業大学建築学部長/建築家
陶器浩一	滋賀県立大学教授/構造家
磯 達雄	建築ジャーナリスト

問い合わせ先

a-forum@a-forum.info

主催

A-Forum (代表: 斎藤公男)
AND 賞実行委員会